

令和7年度

品質・生産性向上のための課題解決支援研修

受講者募集

座学と実践を通して
企業の中核人材
を育成します。

募集定員 16名 (先着)

ねらい

- ものづくり企業の生産性を向上させるため、企業の中核人材の育成に必要な「品質・生産性向上のための課題解決」を率先して実践できる管理・監督者の育成を図ります。
- 全カリキュラムを有機的に結び付け、現場の監督者にふさわしい知識・技能・態度を身に付けます。

特

徴

- 生産現場において、品質・生産性向上のための課題解決方法や人材育成方法などを習得できる延べ18日間の総合研修です。
- 受講者の所属企業の製造現場を教室とした実践的な内容です。
- ※**貴社の製造現場での実践研修**にご協力ください。



1. より品質・生産性の高い技術・技能にブラッシュアップする為には、『暗黙知』を『形式知』にすることが重要です。
※暗黙知：個人の経験や勘に基づく知識 ※形式知：文章や図表、数式で説明できる知識
このプロセスを、座学と実践を通して、“行動できる”まで修得するように進めます。
2. 受講者の“気づき”を大切にし、職場の問題・課題に自ら積極的に取り組む現場リーダーを育成します。
3. 県内企業での指導実績豊富な講師が、受講者に寄り添った活動支援を実施します。また、講座終了後のフォロー支援も可能です。

概

要

1. 既存の価値観や枠組みを根底から覆すリーダーの育成（4日間）
 - ・変革の行動を起こすための「思い込み」と「他責」からの脱却
 - ・「歩行ラリー」という屋外研修を通して、3現で事実をみる、チームワークの大切さを体得するとともに、リーダーシップ発揮のポイントを修得する。
 2. 「職場の変革」（仕事の流れを変える）に必要な手法の習得（5日間）
 - ・『暗黙知』を『形式知』化し、品質・生産性を向上させる改善プロセスに必要な考え方・手法を演習を交えて学ぶ。
(TQM、TPM、TPSの各種手法、作業の標準化と作業要領書への落とし込み)
 3. 異業種企業での「職場・企業の変革」の実践（7日間）
 - ・テーマ選定、現状把握、現状分析（問題点の顕在化）、改善策の検討、活動のまとめ
 4. コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上（2日間）
 - ・これまで学んだことを応用して技術・技能伝承の自社での対応、DX推進への対応を学ぶ。
 - ・最後に、活動の成果発表と今後の活動計画、決意表明を実施する。
- ◆開催日：令和7年8月5日～令和8年2月27日（18日間）



対
象

- ・将来の管理者を目指す方
- ・現場の管理・監督者として活躍を期待されている方
- ・製造現場の管理・監督者に求められる能力を総合的に習得する必要のある方、又はその候補者が在籍企業から推薦のある方

<運営団体 一般社団法人富山県経営者協会>